

わが町のここが聞きたい

問

豪雨災害の復旧と今後の対策は

答

5年度の被災規模121箇所14億5710万円
近隣市町で連携強化 国へ働きかける



質問者の動画が
視聴できます。

こん
今

かつよし
勝吉 議員



問
今議員

① 昨年の豪雨災害の復旧状況と今年7月の大雨被害の状況は。

② 今後想定される大規模災害に備えた交通体系は。

また、緊急時の防災無線の活用は十分と言えるか。

答
町長

① 令和4年8月豪雨による被災規模は、国の災害査定箇所121箇所、査定額14億5710万円。令和5年7月末の復旧工事の契約済額は、10億815万円（69・2パーセント）で、そのうち工事完了した額は8536万円（5・9パーセント）である。7月豪雨の被害額は、県の取りまとめで20億5735万円。更に、公共土木施設、農地農業用施設、林道を合わせた35箇所9億3300万円を国の災害査定に申請する予定。

② 国道101号が分断され、医療や福祉、経済、物流、地域産業全般に悪影響を及ぼす重大さを再認識した。今後の

対応として、国道101号の強靱化

代替路線の整備実現がなんととしても必要である。7月に「国道101号整備促進期成同盟会」（能代市、八峰町、鰯ヶ沢町、深浦町）が災害時の相互応援、救急体制の充実や産業振興の連携強化のあり方を調査し、その実現や充実のため国に働きかけていきたい。

また、新システムの防災無線は、緊急時に迅速かつ安全に場所を選ばず発信できるものと、思っている。スマートフォン等で防災情報が受け取れるアプリの普及啓発も高めていく。

また、新システムの防災無線は、緊急時に迅速かつ安全に場所を選ばず発信できるものと、思っている。スマートフォン等で防災情報が受け取れるアプリの普及啓発も高めていく。



▲今年7月15日の大雨で土砂崩れが発生。国道101号が通行止めとなった（大間越）▲

わが町のここが聞きたい

発達障害の子供への教育支援は

問 今議員

①本町での発達障害のある児童生徒に対する教育支援の現状は。

また、今後の教育支援の取組は。

②発達障害のある子供に対する就学前健診の現状と課題は。

答 町長

①教育支援委員会で、障害の種類や程度を把握し、公認心理士による専門検査の結果や各保育園、各小中学校からの調査票などを参考に、教育支援内容を決めている。また、保護者と面談をし、教育支援委員会が決まった支援内容等を丁寧に説明し、保護者の要望なども同時に確認している。今後も継続して、各学校や関係機関と情報共有しながら、適切な支援の対応を行ってきたい。

②毎年11月頃、小学校に入る

予定の子供全員を対象に健康診断のほか、知能検査も行っている。現時点では、特に問題が起きていないので課題等はない。



花火大会の評価と展望は

問 今議員

①白神山地世界自然遺産登録30周年記念事業として実施した海上花火大会の状況は。

②新しいスタイルのイベントとなったようだが、トータルでの評価と今後の展望は。

答 町長

①実行委員会からは、花火以外にも、懐かしの露天商や県内でも人気のキッチンカーを呼ぶなど新しい取組にもチャレンジし、来場者はおよそ1200人であったと報告を受けている。

②テントの数や提灯、電気設備等の大幅な削減をした。その結果、会場設営や撤収など、猛暑での作業も大幅に軽減がされ、スッキリとした印象の会場は来場者などからもそれなりの評価だったと報告を受けている。新年度に向けて、事業の内容とその継続性について真摯に検討していきたい。



▲交通渋滞が発生するほど大勢の観客を集めた海上花火大会

スマートフォンなどで手軽に議会がご覧になれます

議会だより第70号から、一般質問等のページにQRコードを掲載しています。スマートフォンやタブレットのアプリ等を使いQRコードを読み取ると、各議員等の録画映像が簡単に視聴できます。

ぜひ、ご利用とチャンネル登録をお願いします。



YouTube
「深浦町議会チャンネル」